

4. 国際交流

(1) アジア・太平洋特殊教育国際セミナー

本研究所と日本ユネスコ国内委員会との共催により、APEID特殊教育セミナーを昭和56年（1981年）から、APEID参加国の特殊教育の充実を図ることとし、特殊教育全般について、毎年、実施してきたが、第6期（第21回）事業をもって、特殊教育分野は終了することとなった。これまで、アジア・太平洋地域諸国の行政官、研究者、教育者などを招聘し、海外からの参加者は、289名に達している。これからもAPEID協同センターの一員として、APEID特殊教育セミナーの目的を引き継ぎ、平成14年度からは新たに「アジア・太平洋特殊教育国際セミナー」として特定のテーマに沿ったセミナーとして、その成果を海外の関係者に普及し、アジア・太平洋地域のユネスコ加盟国の教育面での協力を促進し、それぞれの加盟国内での教育の発展に寄与することを目指す。

平成14年度のセミナー実施要項は、次のとおりである。

1) 趣 旨

アジア・太平洋及びオセアニア地域の国々の特殊教育の発展と教育の向上に資することを目的に、特殊教育専門家を招聘し、特殊教育に関するセミナーを実施する。

2) 開催テーマ

感覚障害教育に関する教育実践の現状と課題

－感覚に障害のある子どもの教育実践の実際とその効果－

3) 主 催

独立行政法人国立特殊教育総合研究所

日本ユネスコ国内委員会

4) 会期・場所

① 日 程：平成14年11月11日（月）～ 16日（土）

② 会 場：横浜シンポジア

5) 参加者

① 参加国のユネスコ国内委員会で推薦された、開催テーマについて研究業績があり、プレゼンテーションのできる研究者等

② 研究発表を希望する国内外の研究者等

③ 国立特殊教育総合研究所職員

④ 国立久里浜養護学校職員

⑤ その他（特殊教育関係者・大学関係者・留学生・一般参加希望者）

6) 実施内容

各国参加者による研究発表及びシンポジウムにより構成する。

7) 参加国（14か国）

オーストラリア、バングラデシュ、中国、インド、インドネシア、日本、マレーシア、ネパール、ニュージーランド、パキスタン、フィリピン、韓国、スリランカ、タイ

(2) 特殊教育ニュースレターの刊行（旧 APEID特殊教育ニュースレター）

平成元年度より、アジア・太平洋諸国の特殊教育関係の研究者、教育者、行政官間における継続的な情報交流のネットワークをつくり、それらの国々の特殊教育に関する最新情報の流通の一助として、APEIDセミナーに関する面を中心としたニュースレターを発行してきた。

本年度から新たに実施するアジア・太平洋特殊教育国際セミナーとなることで、内容、発行回数などについて見直しを行い、海外への情報提供となる、より良いニュースレターの刊行を行う予定である。

(3) 世界の特殊教育の刊行

在外研究員の研究報告、国際セミナー関連情報及び科学研究費補助金などにに基づき、海外の特殊教育の実情や研究動向などを「世界の特殊教育（X VII）」としてとりまとめ刊行する。